

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **06-229061**

(43)Date of publication of application : **16.08.1994**

(51)Int.Cl.

E04C 2/30

(21)Application number : **05-101071**

(71)Applicant : **LEE EUN-HWAN**

(22)Date of filing : **27.04.1993**

(72)Inventor : **LEE EUN-HWAN**

(30)Priority

Priority number : **93 9300767**
93 9302003

Priority date : **21.01.1993**
15.02.1993

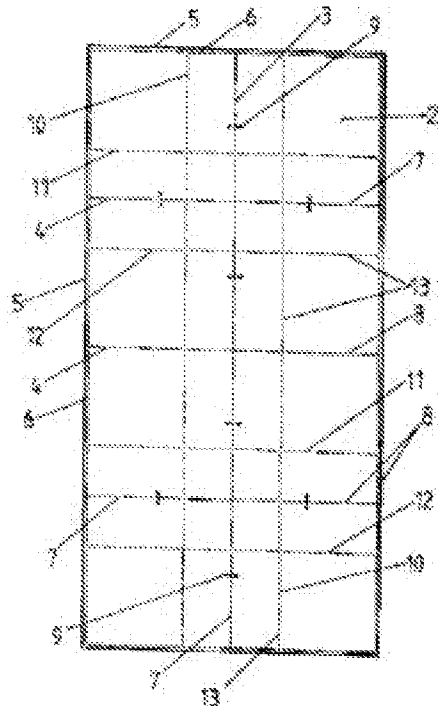
Priority country : **KR**
KR

(54) BUILDING BOARD

(57)Abstract:

PURPOSE: To further simply and stably execute construction of a wall body by a method wherein a nailing part, such as lines, dots, and letters, is displayed on one surface or both surfaces and a cut line for cutting is formed.

CONSTITUTION: Vertical and horizontal section lines 3 and 4 are partitioned on the surface of a board 2 coupled with a frame 1. The section line is equally divided into 2, 3, and 4 section lines as occasion demands. A nailing position is displayed on the section line, and screw nails and staples are easily and accurately nailed at position display parts 8 and 9. Additionally, vertical and horizontal cut lines are formed on the surface of the board and by cutting the board with other length and width than specification, the board is formed in a specified specification.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-229061

(43)公開日 平成6年(1994)8月16日

(51)Int.Cl.⁵

E 0 4 C 2/30

識別記号

庁内整理番号

X 7904-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数5 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平5-101071

(22)出願日 平成5年(1993)4月27日

(31)優先権主張番号 1993-767

(32)優先日 1993年1月21日

(33)優先権主張国 韓国(KR)

(31)優先権主張番号 1993-2003

(32)優先日 1993年2月15日

(33)優先権主張国 韓国(KR)

(71)出願人 593082483

リー、ユン ファン

LEE, EUN-HWAN

大韓民国ソウル、セオドンク、ジャ

ヤンードン 553-44

(72)発明者 リー、ユン ファン

大韓民国ソウル、セオドンク、ジャ

ヤンードン 553-44

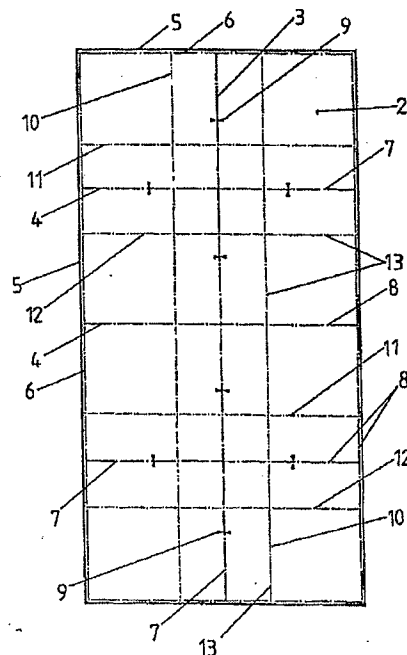
(74)代理人 弁理士 小倉 正明

(54)【発明の名称】 建築用ボード

(57)【要約】 (修正有)

【目的】建築用ボードの一面又は両面に線、点及び文字等の釘付け部を表示し、又切り取るための切取線を形成して壁体等の施工をより簡便にかつ安定に実施し得るようになる。

【構成】フレーム1と結合されるボード2の表面に縦、横方向の区画線3、4を区分形成し、前記区画線を必要に応じて2、3、4等分に形成し、前記区画線に打ち付け位置を表示して釘、ネジ釘、ステーブル等を前記打ち付け位置表示部8、9に容易に正確に打ち付けるようにし、併せてボードの表面に、縦、横方向の切取線を形成して規格以外の長さで前記ボードを切断し得るようになることにより特定規格のボードに形成される建築用ボードである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】幅と長さで区画されたフレームに設置される建築用ボードにおいて、

前記ボード(2)の表面を規格に従って縦、横方向に等分して太線の区画線(3、4)と縁部(5)の区画線(6)を設け、これを再び多等分しその等分位置に点(7)を設け、さらに前記区画を多等分して細線の区画線(10、11)と点(12)を設け、前記各区画線(3、4、6)と点(7)又は前記各区画線(10、11)と点(12)又は前記各区画線(3、4、6)と点(7)および前記各区画線(10、11)と点(12)を打ち付け位置表示部(8、13)として形成して構成されることを特徴とする建築用ボード。

【請求項2】前記ボード(2)上に等分区画して表示される区画に等間隔の点(17)を設けて前記打ち付け位置表示部を形成することを特徴とする請求項1記載の建築用ボード。

【請求項3】前記ボード(2)上に等分区画して表示される区画を数字(18)または、商号等の文字(19)または模様(20)をそれぞれ単独または数種の組合せで設けて前記打ち付け位置表示部を形成することを特徴とする請求項1記載の建築用ボード。

【請求項4】前記ボード(1)の表面を縦、横方向に多等分する等分線(14、15)を設け、前記等分線(14、15)の交点(16)で前記打ち付け位置表示部を形成することを特徴とする請求項1記載の建築用ボード。

【請求項5】太線の区画線と細線の区画線(3、4)、(10、11)を縦、横方向に等分して形成したボード(2)上に一定間隔の切取線(21、22)を縦、横方向に形成して構成されることを特徴とする請求項1記載の建築用ボード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は建築物の壁体及び天井又は組立式建物等の仕切りとして使用される建築用ボードに関するもので、より詳しくはボードの一面又は両面に線、点及び文字等の釘付け部を表示し、又切り取るための切取線を形成して壁体等の施工をより簡便にかつ正確に実施し得るようにした建築用ボードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、建築物又は組立式建物の壁体、天井及び仕切りは、その組立及び施工を便利にするために規格化しており、フレームの両面に防護処理された石綿又は石膏ボードを設置して防音、防護、断熱効果を得るようにしており、前記フレームは大部分金属バー又は木材を用いて釘等をフレームに打ち付けるように構成されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記したようなボードを製造するにあたって、従来はフレームの両面に設置されるボードに何の表示もなく製作されており、ボードによりフレームが覆われ、又、ボード上には釘打ち位置だけでなくフレームの位置も全く特定できないものであった。

【0004】従って、上記したような従来の建築用ボードを使用して釘、ネジ釘、ステーブル等を打ち付けようとするときは、予めフレームの位置を確認しなければならぬ不便があり、熟練工であってもフレームの位置を正確には特定できず釘等の打ち付け状態が不良であるか所望の位置に打ち付けできない問題点があり、不正確かつ不良な打ち付け作業によりボードが損傷されるか又は必要以上に多数の孔があけられてしまう弊害があった。

【0005】又、前記問題点は防音、断熱等の効果を高めるために数枚のボードを重ね設置するときに、より著しくなり、この際に各ボードの打ち付けによる固着が確実に行われないので全体的な施工が不良になる問題点があり、又、現場に対応してボードを特定の長さ或いは幅に作業者が計測の上随時切断するしなければならず、多大の施工時間を必要とし作業能率が低下するだけでなく労働力の増大要因ともなって人件費、施工費等が高騰するなどの問題点があった。

【0006】本発明は前記従来の問題点を解決するためになされたもので、ボードの一面又は両面に線、点及び文字等の釘等の打ち付け位置を表示し、又切り取るための切取線を形成して壁体等の施工をより簡便にかつ安定に実施し得るようにすることをその目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、建築用ボードに縦、横の区画線等を等分して表示し、等分された線、点、文字等の表示位置を打ち付け位置表示部とし、該打ち付け位置表示部は建築用ボードのフレーム位置と一致するようにしてボードの組立及び施工を容易にし、打ち付け位置を容易に探し得るようにするとともに切取線を用いて特定の長さ又は幅で容易に切断し得るようにしたものであって、その特徴とするところを添付図面を参照して言えば、幅と長さで区画されたフレームに設置される建築用ボードにおいて、前記ボード(2)の表面を規格に従って縦、横方向に等分して太線の区画線(3、4)と縁部(5)の区画線(6)を設け、これを再び多等分しその等分位置に点(7)を設け、さらに前記区画を多等分して細線の区画線(10、11)と点(12)を設け、前記各区画線(3、4、6)と点(7)又は前記各区画線(10、11)と点(12)又は前記各区画線(3、4、6)と点(7)および前記各区画線(10、11)と点(12)を打ち付け位置表示部(8、13)として形成して構成したことにある。

【0008】又、前記打ち付け位置表示部は、区画線上

に相当する等間隔の点を設けて形成することもでき、さらに、数字、文字、模様もしくは、等分線上の好転で形成することもできる。

【0009】更に、前記ボード上に、縦横に一定間隔の切取線を設け、この切取線を目安に任意の大きさにボードを切断する。

【0010】

【作用】したがって、前記ボード上の、太線の区画線及びおよびこれらの区画線を多等分した点、及び又は前記細線の区画線及びこの区画線上の打ち付け位置表示部を示す点に、釘、ステーブル等を打ち付けて、容易にフレーム位置と一致させてボードの組立て及び施工を行うことができる。

【0011】

【実施例】本発明の構成を添付図面に基つてより詳しく説明する。

【0012】図1及び図2は本発明の基本的な実施例を示す図面である。

【0013】前記図面に示すように、木材又は金属バーにより形成されたフレーム1を一定間隔で設置し、これの一面又は両面に建築用ボード2を組立、設置するにあたって、前記ボード2の表面を規格に従って縦、横方向に2等分及び4等分して太線で縦、横区画線3、4、4、4を設け、前記ボード2の縁部5にも、前記区画線と同じく太線で区画線6、6を設け、前記区画線3、4及び6を一定間隔で等分し等分位置に点7を形成してこれを打ち付け位置表示部8とし、前記区画線3、4に特定の打ち付け位置表示部9を設ける。

【0014】又、前記ボード2を縦、横方向に3等分及び6等分して細線で区画線10、11を設け、該区画線10、11を再び多数に等分しその等分位置を点12で表示して打ち付け位置表示部13として形成する。

【0015】本発明の実施例は前記のように太線で形成した縦、横の区画線3、4と線6と点7を設けたものであるが、細線の区画線10、11と点12だけを設けて使用し得、又、図1及び図2に示すように、太線の区画線と細線の区画線とを混合表示して使用し得るもので、前記ボード2をフレーム1に組立るか又は各ボード2を結合しようとするとき、そして前記フレーム1が結合されたボードを重畳して結合するとき、前記各区画線3、4、10、11と線6と点7、12により設けられた打ち付け位置表示部8を確認してこの打ち付け位置表示部に釘、ネジ釘、ステーブル等を打ち付ける。

【0016】図3及び図4は本発明の他の実施例で、ボード2を縦、横方向に多数等分して等分線14、15を表示し、該等分線14、15上の適宜な位置を選定して釘等を打ち付けるか、又は前記等分線14、15の交点16を打ち付け位置表示部として使用し得るように構成している。

【0017】図5乃至図8は本発明のさらに他の実施例

で、ボード2の等分による区画地点を点17、数字18、商号等を表す文字19又は模様20をそれぞれ設け、該点17、数字18、文字19又は模様20を打ち付け位置表示部として形成しこの位置に釘等を打ち付けるようになってい

【0018】又、前記本発明の等分は縦、横方向に2等分と4等分、又は3等分と6等分にされているが、本発明はこれに限定されることなくボード2の規格、例えば3×6、3×7、3×8、4×8フィート及びインチによる製品またはメートル法による製品の場合にも必要な幅と長さで2、3、4、6等分のように多等分し得る。

【0019】図9は本発明のさらに他の実施例を示すもので、前記のように縦、横方向に多等分して太い区画線と細い区画線3、4、10、11を設けたボード2上に一定間隔の切取線21、22を縦、横方向に多数設け、この切取線21、22を用いてボード2を必要に応じて任意の大きさに切断し得るものである。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、ボード2をフレーム1上に結合するとき前記各区画線、線、点等により表示された打ち付け位置表示部を用いて釘、ネジ釘、ステーブル等を打ち付けることにより組立られ、未熟練者であっても打ち付け位置表示部を用いて望む位置に打ち付け作業を行えるので、位置の特定から打ち付けまでの作業が容易になり、又ボードを二重以上に重畳して組立施工する場合も打ち付け位置表示部を用いて容易に合わせることができ、これに釘等を正確に打ち付けることができるようになる。

【0021】従って、打ち付け位置を探すために努力しなくても良いので、作業、施工等の時間が大きく短縮されこれによる人件費を大きく節減し得る。

【0022】さらに、図9の切取線21、22を用いてボード2を縦、横方向の任意の大きさに切断して使用し得るのでボード2を特定の大きさに製作し得、商号等をボード2上に打ち付け位置表示部として形成する場合、商品の広告効果が得られボードの組立及び施工をより簡便にかつ正確にし得る等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の設置状態を示す斜視図である。

【図2】本発明の正面図である。

【図3】本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【図4】図3の一部切欠き正面図である。

【図5】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【図6】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【図7】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【図8】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【図9】本発明のさらに他の実施例の正面図である。

【符号の説明】

1...フレーム

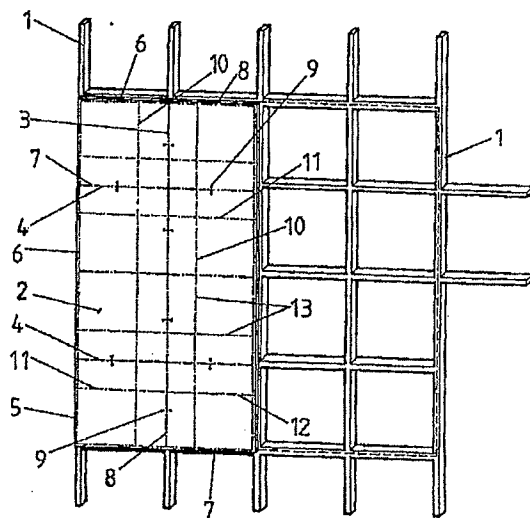
2...ボード

- 3...太線の区画線
 4...太線の区画線
 5...縁部
 6...線
 7...区画点
 8...打ち付け位置表示部
 9...打ち付け位置表示部
 10...細線の区画線
 11...細線の区画線
 12...区画点

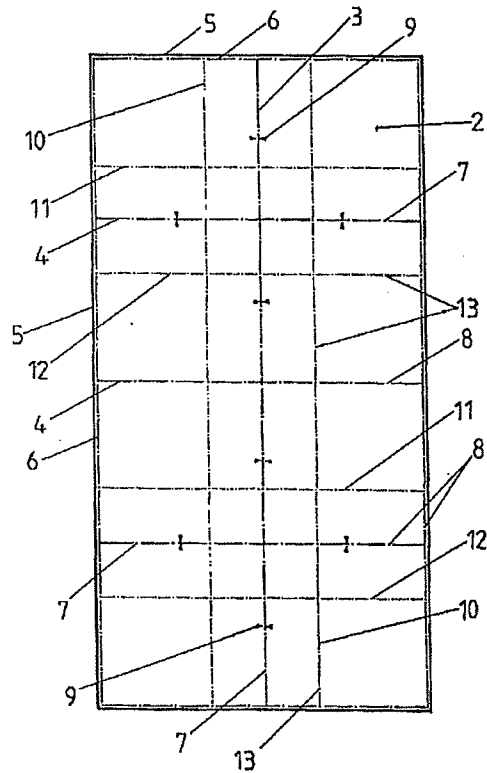
*13...打ち付け位置表示部

- 14...等分線
 15...等分線
 16...交点
 17...点
 18...数字
 19...商号等の文字
 20...模様
 21...切取線
 *10 22...切取線

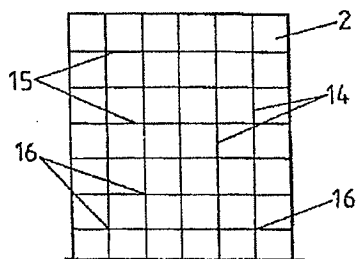
【図1】



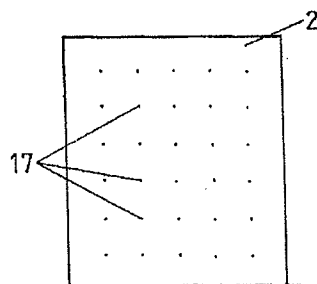
【図2】



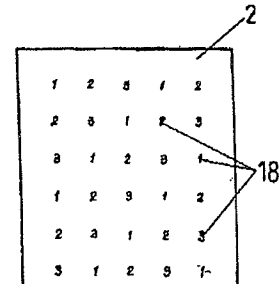
【図4】



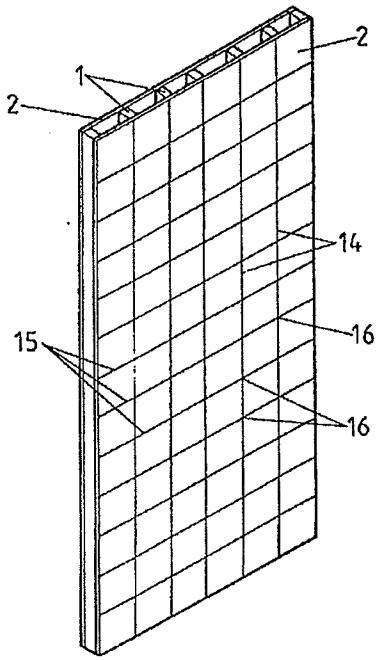
【図5】



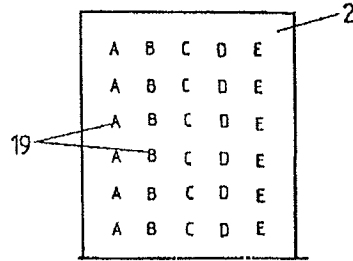
【図6】



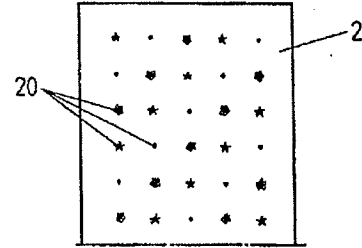
【図3】



【図7】



【図8】



【図9】

